

# 2022年度 入試説明会資料



生徒と共に…未来に挑戦！

## 江戸川学園取手高等学校

# 目 次

○高等部入学試験問題の出題傾向と特色	P. 1～ 5
○2022年度入試 新型コロナ感染症対策について	P. 6
○入学試験Q&A	P. 7～12
○2021年度高等部入試結果	P.13～16
○入試説明会・入試日程	P.17



## 高等部入学試験問題の出題傾向と特色

### 【英語】（推薦入試以外）

#### 〈問題構成〉

毎年の問題構成は、大まかに、①・②リスニング問題、③文法問題や正誤問題等、④・⑤長文読解問題、⑥（及び⑦）英作文という構成になっています。

①・②のリスニング問題は、選択式、記述式の出題で、昨年度の配点は合計で16点でした。①は、モノログ（ダイアログ）形式で文章が読まれた後、内容を確認する問題（選択式）となります。昨年度は、スーパーマーケットや学校でのアナウンスや自己紹介の文章を聞いて、それに続く質問に対する答えとして適切なものを選ぶというものでした。②は、語の説明が英語でされ、その語を正しく書く問題（記述式）です。過去の語彙問題と類似の問題になります。英語の文章、質問共に2回放送されます。放送を聞きながら、メモをとってもかまいません。

文法問題は通常10問で、全て選択式問題となっています。毎年同様の形式で出題されます。語彙問題や正誤問題は5～10問となっています。正誤問題は、基本的には選択式で、正しい文を選ぶ場合と、誤っている文を選ぶ場合に分かれていますが、10問中5問を解答する出題傾向が多く見られます。語彙問題は記述式で、語彙力を問う問題となっています。単語の定義が英文で示されており、それを読み、どの単語の内容を説明しているのかを見極める問題となっています。語彙問題に関しては、毎年同じ出題傾向ではなく、派生語を問われる場合や、短い英文の中で文脈上最適な語を当てはめる場合などがあります。長文読解問題は、選択式問題と記述式問題で構成されています。年度によってジャンルはさまざまで、語彙問題、抜き出し問題、内容理解問題、語句整序問題など、出題内容は多岐に渡ります。文章の流れを素早く読み取る内容理解力や、語彙力なども問われます。英作文問題は、単純な和文英訳形式や、自分自身のことを答える形式、絵・グラフ・図などを見て状況を把握する形式などさまざまです。記述式で、語句指定や語数指定がされている場合もあります。

#### 〈出題傾向と対策〉

リスニング問題の対策については、普段から英語を聞き、音読をする学習を行いましょう。話の流れを追いながら英語の文章を読むことも対策になるでしょう。会話がどんな状況で行われているのか、誰が話しているのか、どこで話しているのかなど、流れを追いながら聞くことが大切です。語の説明を聞いて、正しい英語を書く問題は、過去問題を解くことが対策となるでしょう。

文法問題や語彙問題、正誤問題は、中学既習分野だけではなく、高校初級レベルの文法問題まで出題されます。例えば、5文型、関係代名詞と関係副詞、可算名詞と不可算名詞、代名詞、動名詞、助動詞、前置詞、接続詞など、幅広い文法分野からの出題となっていますので、高校初級レベルの文法問題にまで学習範囲を広げ、数多くの問題演習を行っておくことが望まれます。ただ暗記するのではなく、なぜこの答えに導かれるのかということをしかりと意識して、問われていることを自分で分類できることが大切です。

長文読解問題は、英文を大まかに把握できているかを問う問題となっています。設問形式は毎年さまざまですが、部分ではなく、英文全体の流れを把握できているかどうかを問うものが中心となっています。いかに速く正確に内容を把握できるかが鍵です。問題形式は、選択式問題を多く含みます。中には語彙問題・和訳問題・要約問題を含む場合もあります。また、全体の流れの中で、語彙を連想させる問題などが出題される場合もあります。内容一致の問題は何らかの形で出題されますが、ほとんどが選択式の問題となっています。対策としては、教科書レベルの英文を速読速解できるように、数多くの長文問題に取り組んでおくことが望まれます。そして、長文で出てくる単語のさらに深い意味を知っておくことが語彙力強化と速読力強化につながります。

英作文問題は、基本的な英文が正しく綴ることができるかを測る問題となっています。出題される日本語は、日常的な表現が多く、分野としては、中学校で既習のものがほとんどです。時制、関係詞、比較、現在完了、助動詞、疑問文などといった文法事項が問われます。対策としては、基本的な英文でよいので、文法問題の学習で目に触れた英文を何度も書いて覚え、暗唱できるくらいにまでに自分のものとする学習姿勢が大切です。また自由英作文問題の対策としては、身近なことを簡単に正確な英語で表現し記述する習慣をつけておくこと

が大切です。いろいろなテーマで書く練習をしておいてください。

### 〈本校が求める力〉

第一に「正確な知識」です。例えば4択式の文法問題では選択肢を1つに絞れるようにしましょう。そのためには知識が曖昧ではいけません。確固たる根拠をもって解答を1つに絞れるような正確な知識を身に付けられるように努力してください。

次に「2つの読解力」です。1つ目は長文全体の内容を把握する読解力であり、2つ目は、理屈から攻めて一文一文を正確に訳すことのできる読解力です。両方の力を身に付けられるよう訓練を積んでください。

そして「表現力」です。英語の試験ですから、英語を正しく綴ることは当然ですが、日本語も適切にそしゃくし、表現することができなくてはなりません。正しい日本語、正しい漢字を使って表現できるよう日頃から意識して取り組んでほしいと思います。

## 【英語】（推薦入試）

### 〈問題構成〉

問題構成は、**1**文法問題（4択）、**2**文法問題（表現としての4択問題）**3**長文読解問題、**4**英作文という構成になっています。

**1**文法問題は通常10問程度で、全て選択式問題となっています。時制・態・疑問文・形容詞・代名詞・現在完了・会話文の応答など、中学校で学ぶ分野から出題されます。**2**文法問題（表現としての4択問題）は5問程度となっています。日本語に相当する最適な英語表現を選択する問題となっておりますが、同じ傾向で出題されない可能性があります。語彙の問題や正誤問題や整序問題など、出題傾向は変わることがあります。**3**の長文読解問題は、選択式問題と記述式問題で構成されています。ジャンルはさまざまです。語彙問題、抜き出し問題、内容理解問題、語句整序問題、説明問題など、出題内容は多岐に渡ります。文の流れを素早く読み取る内容理解力や、語彙力なども問われます。**4**の英作文問題は、英作文問題となります。単純な和文英訳形式や、自分自身のことを答える形式、絵・グラフ・図などを見て状況を把握する形式などさまざまです。記述式で、語句指定や語数指定がされている場合もあります。

### 〈出題傾向と対策〉

全体的に、中学既習分野をしっかり押さえておくことが求められます。代名詞、動名詞、助動詞、前置詞、接続詞、現在完了、疑問文、会話表現など、幅広い分野からの出題となっておりますので、数多くの問題演習を行っておくことが望まれます。ただ暗記するのではなく、なぜこの答えに導かれるのかということをしかりと意識して、問われていることを自分で分類できることが大切です。

また、英文を読む習慣もつけておきましょう。多くの英単語に触れることで、読むことに対する抵抗感がなくなり、速読力が上がります。さらに、見直しには緻密な解釈も行いながら、英文のテーマのみならず英文自体も自分のものになるよう努めてください。

英作文問題は、基本的な英文が正しく綴ることができるかを測る問題となっています。出題される日本語は、日常的な表現が多く、分野としては、中学校で既習のものがほとんどです。時制、関係詞、比較、現在完了、助動詞、疑問文などといった文法事項が問われます。対策としては、基本的な例文を何度も実際に手で書き、書くことに自信がついたら口頭でも即座に言えるように練習しましょう。また自由英作文問題の対策としては、身近なこと（たとえば、ニュースのタイトル、今行っていること、身の回りで起こっていることなど）を簡単に正確な英語一文で表現する癖をつけておくとうよいです。

## 【数学】

### 〈問題構成〉

大問を5題出題します。

大問1は、小問集合で6～9題程度の出題となります。ここでは、基本問題を中心としていますが、計算力が必要な問題も出題されています。問題の内容を正確に読み取り、素早く正確に計算する力が求められます。

大問2、3、4では、標準から発展的な内容の問題が出題され、記述問題が含まれてい

ます。したがって、普段の学習においても途中過程をしっかりと書く訓練を積んでおきましょう。「答えがあっていればそれで良い」という学習法を見直していく必要があります。大問5は、思考力を問う問題が出題されます。

### 〈出題傾向〉

出題傾向に関しては、以下のように分野に偏りなく、中学3年間の総合力を評価します。

- |       |             |
|-------|-------------|
| ①式と計算 | ②方程式        |
| ③関数   | ④図形(平面, 空間) |
| ⑤確率   | ⑥その他        |

大問1は例年これらの様々な分野から出題されています。大問1で出題される基本問題を確実に得点することが合格につながってきますので、苦手分野をつくらないことが大切です。

一方、問2、3、4において、前半部分は基礎的な問題となっている場合があります。もちろん、決して簡単な計算だけで答えが得られるというのではなく、効率よく計算しなくてはスムーズに答えを得られない問題もあるので注意してください。また、誘導形式の出題となっている場合があるので、後半の難易度の高い問題でも前半部分の内容をヒントにしながら解いていけば、完答できる可能性が広がるでしょう。大問5に関しては、思考力を問う問題であり、文章量が長くても諦めずに必要な情報を読み取ることができれば、十分に対応できる問題です。

### 〈本校の求める力〉

本校の求める「数学力」は、「基礎力」と「思考力」です。

まず、「基礎力」をアップさせるには、中学校の教科書の章末問題レベルの演習を数多くこなしてください。そこで学んだ典型的な解法を組み合わせることで解く問題もあるので、様々な類題演習をこなす必要があります。また、日頃の学習において、最後まで計算をやりつくす習慣を身につけることが大切です。本校で過去に出題された問題等を参考にして、高校入試で頻出の解法を使いこなせるようにしておきましょう。

また、本校の問題では誘導にしたがって解く形式のものもあるので、前半の問題の意図をとらえて、後半の問題を解く習慣を身につけましょう。これは「思考力」を適用した一つの例です。こうした「思考力」を「センス」と考える人がいますが、決してそうではありません。「思考力」は豊富な演習量によって身につくものです。様々なタイプの問題演習をこなすことで、しっかりとした「思考力」が身につくことを忘れないでください。これらの「計算力」と「思考力」は互いに補う関係にあり、「数学力」の屋台を支える両輪といえます。「基礎的な計算力」は豊かな発想を生み、一方「柔軟な思考力」は解答へ通じる最短の道筋を与えてくれます。

最後に、これらの力を備えた総合的な「数学力」を身につけるためには、過不足なく論理的にしっかりと説明する「記述力」が不可欠です。答えだけではなく、教科書や問題集の模範解答を丹念に読み、それらをしっかりと理解した上で、今度は自分の力で工夫した形で解答を作成するといった学習習慣を身につけましょう。これが「記述力」そして「数学力」につながってきます。総合的な「数学力」を身につけて入試に臨むことを期待します。

## 【国語】

### 〈国語科指導の特色〉

本校の高等部国語科では、新制度の大学入試を見据え、「茨城県初の小中高12ヶ年一貫教育」の特色を生かし、総合的な国語力を培うことを目的として指導しています。国語は全ての教科の基本となる「読解力」・「表現力」・「思考力」を養成することができる教科です。本校の国語科では、単に知識を詰め込むだけではなく、「主体的な学び」を重視し、他者の考えを客観的に理解する「読解力」、自分の考えを適切に相手に伝える「表現力」、自分で問題を発見できる「思考力」の3つの力の養成を目的としています。同時に新しい教育の流れを意識した指導も意識的に取り入れるようにしています。高等部2学年までは「検定教科書」に徹底的にこだわり、一つ一つの文章表現を丁寧に扱い、上記3つの力を深く掘り下げていくことを目標としています。

国語の総合的な力は、学校の授業はもちろんですが、普段の言語環境も、その育成に大

きな影響を与えます。日頃、書籍や新聞などを読む習慣を持っていると、高度な読解力と思考力が定着しやすくなります。そのために、本校の国語科では読書指導に力を入れています。また、ポートフォリオの蓄積を意識した、外部の諸活動への参加を積極的に働きかけています。

#### 〈入試問題の出題傾向ならびに対策〉

大問は評論・小説（随筆）・古文の三題。

- ① 評論は論理的思考力を問う問題が中心となります。具体的には、段落のポイントや文章全体の論理展開を問う問題です。語彙力の確認として、漢字の書き取りと読みの問題も出題します。評論は、受験生にとって比較的長めに感じる文章を出題します。本校の過去問に取り組むことで、時間内に解く練習をする必要があります。文章を読む際は、段落のポイント、段落相互の関係、文章の主旨を考えながら読む習慣を身につけてください。提示された具体例が、筆者のどのような考えを伝えるためのものなのかを把握することも大切です。また、漢字についての出題もありますので、漢字の問題集を一冊完璧に仕上げることが大切です。
- ② 小説や随筆の読解において最も重要なことは登場人物や筆者の心情を把握することです。本校の小説・随筆の問題では心情をとらえる問題を出題します。心情を的確に読み取る力は、細やかな観察力や共感力に支えられたものであり、それは、人として大切なものだからです。小説・随筆の読解では、「場の設定」の把握が必要となります。ここでの「場の設定」とは、登場人物の特徴、置かれている状況のことです。「場の設定」の論理の下でしか、話は展開していかないという思いで、読み進めることが大切です。また、登場人物や筆者の心情を把握するためには、会話の内容や行動が手掛かりとなります。心情把握問題では、必ず答えの根拠を見つけて解答しましょう。
- ③ 古文の問題では、中学校で学習する古文の内容に基づく基本的な問題を出題します。毎年出題される設問の例としては、歴史的仮名遣い・係り結びの法則などの知識を問う問題があります。さらに、登場人物の心情や作品の主題を問う読解問題も出題します。したがって、古文に関しては、中学校で学習する知識を整理しておいてください。内容把握の問題も出題しますので、過去問を解いて傾向に慣れることも大切です。

## 【理科】

### 〈本校理科のアドミッション・ポリシー〉

本校理科においては「自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。」という目標に沿って高等部の学習指導が実践されています。理科（自然科学）とは、生物と環境、物質とエネルギー、地球と宇宙など、私たちを取りまく自然の謎を解き明かし、人類の英知を高めると同時に、広く社会の進歩に貢献することを目指す学問です。そのような目的を達成するためにも、本校理科としては次のような人の入学を求めています。

- ・自然界の不思議に関心を持ち、それらを解明したいと思っている人
- ・理科（自然科学）に魅力を感じ、もっと学びたいと思っている人
- ・理科（自然科学）を勉強し、社会の様々な分野で貢献したいと思っている人

### 〈出題の目的〉

上記のアドミッション・ポリシーの内容を確認するため、「正確な知識」「実験・観察・観測を通して文章や表、グラフから科学現象を考察する力」「科学的な思考力」「計算力」など、自然科学を多角的に考えることができる力を身に付けているかを判断する作問を行っています。

### 〈問題構成〉

計算問題、文章による記述問題、作図やグラフの記入などです。実験・観察・観測を通して、文章や表、グラフから科学現象を読解する力や、科学的な思考力、計算力をみる問題を出題します。

試験時間は40分、得点は50点満点となります。

### 〈求める力・学習における注意点〉

学習方法で大切なことは、断片的な知識の暗記だけではなく、さまざまな現象について「なぜだろう?」「どうして?」という気持ちを持ち続けながら、その疑問を解決していくことです。既存の知識を元に正しく論理立てて考え、疑問を解決していくような力をつけてください。また、正しく早く解ける計算力もつけるよう心がけてください。より思考力を試す問題となっています。各分野の難易度が高い問題にチャレンジして学習してほしいと思います。

## 【社会】

社会科の入試問題は、地理・歴史・公民の3つの分野から広く出題します。全体としては、30問程度の出題数となる予定です。分野別に見ると、歴史分野からやや多めに出版しており、次いで地理分野、公民分野の順で問題数が多くなっています。

近年は、基礎的な知識・情報の理解を確認する問題だけでなく、これまでに身に付けた知識や情報を整理・分析したり、身の回りに存在する様々な社会課題について考察したりする問いの出題を増やしています。例えば、2021年度入試では、雨温図や地形図から気候や地形の特徴について抽出したり、風刺画と歴史的な事象を関連付けて考察したりする問いを出題しました。この背景には、変化の激しい時代を生き抜く資質・能力を備えた「心豊かなリーダー」としての《ポテンシャル》を測りたいという本校社会科の思いが込められています。このような資質・能力は、教育改革・大学入試改革の進展に伴って大きく注目されていますが、【学校】や【入試】といった枠に囚われることなく、広く受験生の皆さんに身に付けて欲しいと考えています。

そのような観点から、既存の知識や情報を組み合わせて論理的に思考する力、そして、自らの意見や考えを筋道立てて表現する力などを測るために、記述・論述問題やテーマ文読解に関する問いを出題する予定です。さらに、山積する課題を「ジブンゴト」と捉え、その解決に向けて前向きに行動を起こして欲しいという願いから、例年現代社会や時事問題に関する問いを出題しています。

また、漢字で解答することを求める問いを毎年必ず出題しています。それは、基本的な語句を正しく覚えることが、1つ1つの事柄の本質を理解するファーストステップであると考えているためです。従って、漢字指定の問題については、誤字や「かな」での解答は得点に結び付きません。日頃から「漢字で書けるものは漢字で書く」習慣を身につけるように心がけてください。

## 2022年度入試 新型コロナウイルス感染症対策について

江戸川学園取手中・高等学校

新型コロナウイルス感染症の状況と文部科学省から示されるガイドラインを基本に、安心して受験していただける対策を講じて実施致します。

但し、コロナの状況により、以下の内容が変更になる場合もございます。

### 入場に関する対応

- ① 会場入口にて、サーマルカメラで温度測定を行います。
- ② 入試の朝体温測定を行い37.5度以上、また具合が悪い場合は、受験を控えていただき、他の回の入試を受験してください。
- ③ 校内では、必ずマスクを着用してください。マスク未着用者には、会場入口でマスクを配布します。
- ④ 会場入口にて、アルコール消毒を行っていただきます。

### 受験会場

- ① 3密回避対策を行って、試験を実施します。
- ② 1会場の席については、コロナの状況とガイドラインに合わせて、対応致します。
- ③ 座席の配置は、1メートル以上の間隔を確保いたします。
- ④ エアコンを暖房にして、換気のため、窓は外側と廊下側を数ヶ所、少し開けておきます。
- ⑤ 各会場出入口にも、消毒液を設置します。

### 塾の先生方の応援（受験生の激励）場所

- ① 各塾毎に、できるだけ、人数を絞ってのご来校をお願い致します。
- ② 受験生の応援（受験生の激励）場所は、3密状態にならないように、指定させていただきます。
- ③ 校内に入場する際には、マスクの着用をお願い致します。
- ④ 受験生との握手は、ご遠慮ください。

### 保護者控室

- ① 校内に、保護者控室を用意します。お待ちいただく場合は、ご利用下さい。  
ただし、保護者の方も校内に入場する際には、マスクの着用をお願い致します。
- ② 3密にならないように配慮し、対応致します。
- ③ 入学試験終了後、受験生との待ち合わせ場所を事前に決めておいてください。

### 駐車場

9月以降の説明会で、詳細をお伝えさせていただきます。

# 江戸川学園取手高等学校 Q & A

## 【コロナウィルス感染症対策について】

現在新型コロナウイルスに関する動向がつかみにくいいため、入学試験の実施に関しては臨機応変に対応していきたいと考えております。昨年度は、サーマルカメラの設置やアルコール消毒の徹底、1教室の収容人数を減らすなどの対応をいたしました。今年度も徹底した対応策をとりますが、その詳細は状況を見て本校ホームページや説明会でご案内いたします。

## 【学校見学に関して】

**Q 1 : 学校内を見学することはできますか？**

A : できます。入試担当者に事前に電話でお問い合わせください。  
(学校代表番号) 0297-74-8771

**Q 2 : 入試説明会はありますか？**

A : 3回実施します。第1回が9月11日(土)、第2回が10月23日(土)、第3回が11月20日(土)です。入試に関する情報提供(要項・各教科の出題傾向)・授業見学・個別相談を行います。事前の予約が必要です。本校HPでお申込みください。当日は10時00分から開始となります。

**Q 3 : 受験該当学年ではないのですが、校風や学校生活を知る機会はありませんか？**

A : 通常の学校見学はもちろん、文化祭・オープンスクールを始め、個別相談会や入試説明会などにお越しいただけます。個別に校舎の案内等をご希望の場合は、入試担当者に電話でお問い合わせください。

**Q 4 : 体育祭や文化祭を見ることはできますか？**

A : 例年であれば可能でしたが、今年度はコロナウィルスの影響で体育祭は中止しました。また、文化祭は10月上旬に実施予定です。(昨年度はオンラインでの実施となりました。)

## 【学校生活に関して】

**Q 1 : 始業時刻と終業時刻を教えてください。**

A : 始業時刻は8:30です。6校時終了時刻は14:45、7校時終了時刻は15:40です。最終下校時刻は18:00です(水曜日は17:00、土曜日は15:30です)。

**Q 2 : 土曜日に授業はありますか？**

A : 土曜日は基本的に隔週で45分4コマ授業を行います。

**Q 3 : 昼食は毎日お弁当を持たせなければいけないでしょうか？**

A : 校内には、食堂があります。朝7時30分から夕方まで営業しています。朝はおにぎりやパンなどの軽食、昼食時は、パン・弁当・軽食・定食、夕食時は、軽食・定食などを購入することができます。コミュニティーホールというカフェテリアがあり、そこで自由に食事をすることができます。

**Q 4 : 携帯電話は持ち込めますか？**

A : 携帯電話は登録制となっております。朝電源を切って、各自のロッカーで自己管理します。

**Q 5 : 理系・文系にはいつ分かれ、その比率はどのくらいですか？**

A : 高校2年次に分かれます。理系と文系の比率は、だいたい6:4です。

**Q 6 : 内部進学生(中入生)と高校入学生(高入生)は、いつ同じクラスになりますか？**

A : 医科コースと東大コースは、高校1年次より中入生と高入生の混合クラスになります。数学の授業は、高入生だけのクラスとなります。難関大クラス時は、高校2年次から中入生と混合クラスとなります。また、高校2年進級時に、一定の条件を満たせば、東大コースや医科コースに編入することもできます。

**Q 7 : 各教科の年間指導計画はありますか？**

A : 本校には「シラバス」という、各科目の学習内容と解説が中学 1 年から高校 3 年までまとめられています。

**Q 8 : 習熟度別授業はありますか？**

A : あります。一部コースの英・数の授業で行っています。

**Q 9 : 課外授業はありますか？**

A : あります。「アフタースクール」という名称で、100 以上の講座を用意しており、すべて希望制の授業となっております。内容は 5 教科と関連するものから教養を深める内容のものまで幅広く扱っています。

**Q 10 : 塾や予備校に通う必要はありますか？**

A : ありません。本校は「授業が一番」をモットーに、充実感の得られる学習指導体制を展開していますので、本校が提供する環境を最大限に利用していただければ十分に学力を身に付けることができます。

**Q 11 : スクールカウンセラーはいますか？**

A : 専門の臨床心理士が週 3 日学校に待機しており、生徒の心身のケアに努めています。

**Q 12 : 学校案内のパンフレットを手に入れるにはどうすればいいですか？**

A : ホームページ上で申し込んでいただければ、郵送で入試要項と学校案内を無料でお送りします。本校 HP 上でも PDF で閲覧とダウンロードが可能です。また、本校の事務室受付窓口でも配布しています。

**Q 13 : 緊急時の対応について教えてください。**

A : 本校では一斉配信メールシステムを導入しており、緊急時や各行事等のお知らせを保護者へのメール配信によって行っております。また、ホームページ上でも随時対応を載せています。なお、災害などの際に、万が一校舎内に宿泊することになった場合でも、十分な食料・飲料水・毛布などが備蓄されています。

**Q 14 : 部活動と学習の両立は可能ですか？**

A : 本校には、運動部が 18 部、文化部が 11 部、同好会が 17 団体あり、7 割以上の生徒たちが参加しています。仲間と切磋琢磨することが、学業にも大いに活かされており、部活動に熱心に取り組む生徒ほど、しっかりと両立することができています。

**Q 15 : 学校でかかる費用について教えてください。**

A : 以下の通りです。

(1) 入学納入金と学費

入学納入金		入学後の毎月の納入金	
入 学 金	150,000円	授 業 料	30,000円
施設・設備費	200,000円	維 持 費	17,000円
		後 援 会 費	500円
		生 徒 会 費	500円
計	350,000円	計	48,000円

※寄付金・学債はありません。

(2) 3 年間分の諸経費 130,000円 (令和 2 年度実績)

<内訳>

- ・研修旅行費 (2 泊 3 日) 約 35,000円
- ・高 2 時夏期勉強合宿費補助
- ・オデトリウムイベント費 (3 年間分) 約 30,000円
- ・日本スプーツ振興センター会費 (3 年間分)
- (残金が出た場合は卒業対策費に充当します。)

※諸経費は入学後 5 月に自動引き落としで納入となります。

(3) その他にかかる費用については以下の通りです。

<内訳>

- ・学校規定品 (制服一式・カバン・体育着・シューズなど必需品一式) 約 130,000円
- ・カナダ修学旅行 約 300,000円
- (1 年間の積み立て、または一括納入選択が選べます)

- ※令和2年度実績。
- ・教材費 高1：約30,000円～35,000円  
高2：約20,000円～30,000円  
高3：約10,000円
- ※いずれも令和2年度実績。学年ごと、コースごとに若干の差があります。
- ・模試費 高1：約11,000円  
高2：約8,000円～11,000円  
高3：約17,000円～31,000円
- ※いずれも令和2年度実績ですが、学年、コースごとに若干の差があります。
- ・アフタースクール費用 3,000～4,000円程度（1講座半年分）
- ※アフタースクール受講は選択制となります。

## 【出願に関して】

### Q1：入試要項はいつから手に入りますか？

A：7月上旬の本校のオープンスクール時から入手できます。ホームページ上で申し込んでいただければ、郵送で入試要項と学校案内を無料でお送りします。

### Q2：インターネットでの受付はいつからですか？

A：11月20日からです。調査書のみ郵送となります。推薦入試・アドミッション方式の受付は10月1日から可能です。詳細は入試担当者におたずねください。

### Q3：一般入試は2回とも受験できますか？

A：できます。第1回入試が1月15日、第2回入試は1月20日になっております。同時出願の方が受験料がお得です。

### Q4：出願時に使用する調査書は公立高校に提出するものと同じで大丈夫ですか？

A：はい。ただし、出欠席に関しては、中学3年次のものだけではなく、中学1・2年次のものが記載されていることが条件となります。本校所定の様式（本校ホームページ上でダウンロードも可）を使用していただいても構いません。

### Q5：帰国生受験者カードとは何ですか？

A：一部の入試や方式で利用可能です。提出していただくと当日の試験で優遇措置があります。

## 【入試当日に関して】

### Q1：入試当日は車でいきたいのですが、駐車場はありますか。また、試験会場には何時から入場できますか。保護者の控え室はありますか？

A：現在調整中です。駐車場および保護者控え室に関する詳細は、入試日が近づきましたらホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。できるだけ電車バスなどの公共交通機関のご利用をお願いします。当日は取手駅学校間のバスを増便します。また、TX守谷駅西口から直通の路線バスも出ます。詳しい時刻表は、入試日が近づきましたらホームページに掲載しますので、ご確認ください。試験会場には午前7時から入場できます。

### Q2：遅刻した場合は受験はできませんか？

A：遅刻は30分までは認めます。集合時間が8時30分ですので、9時00分までとなります。ただし、筆記試験が始まる8時45分以降（9時00分まで）に入場した場合は、別室での受験となります。

### Q3：降雪などの対応はどうなりますか？

A：降雪などによる電車バスの遅れによる遅刻の場合は、遅刻扱いとしません。降雪などの状況によっては、試験の開始時間を遅らせて実施する場合もありますのでご注意ください。降雪時の入試情報は、試験当日の朝5時頃にホームページに掲載します。

### Q4：保健室受験はできますか？

A：試験中に気分が悪くなった場合は、試験監督者に申し出てください。保健室受験ができるように準備してあります。

### Q5：受験票を忘れたらどうすればいいですか？

A：入試本部で仮受験票を発行しますので、近くの教職員にお申し出ください。

**Q 6 : 入試日の前日、もしくは当日の朝、地震等の不測の事態が発生した場合の対応はどうなりますか？**

A : 本校のホームページ上に、対応策を掲示いたしますのでご確認ください。

### 【推薦入試に関して】

**Q 1 : 推薦入試を受けたいのですが、どうすればよいですか？**

A : まずは中学校の担任の先生にその旨をお伝えください。担任の先生、または進路指導の先生から本校へ連絡が入ったあと、入試担当者が必要書類を中学校へ届け、詳細を説明します。その後皆さんに必要書類を準備していただく手順となります。詳しくは、入試要項の「推薦入試」の項目をご覧ください。

**Q 2 : 推薦入試とアドミッション方式の違いは何ですか？**

A : 推薦入試は所属の学校長が推薦し、学校長印が必要です。アドミッション方式は学校長印が不要です。それぞれに出願条件があります。

**Q 3 : 推薦入試で3教科一斉型とありますが、内容とレベルを教えてください。**

A : 国数英3教科の試験を90分間で一斉に行います。得意な教科から解答することができます。出題レベルは、公立高校の学力検査に近いものとなります。

**Q 4 : 推薦入試で合格した上で、アドミッション方式は受験できますか？**

A : できません。推薦入試かアドミッション方式のどちらかしか受験できません。ただし、推薦入試で合格後、単願方式で第1回・第2回入試において医科・東大コース受験にチャレンジしたり、特待合格を目指すことができます。

**Q 5 : 推薦入試に特待合格はありますか？**

A : ありません。特待合格を目指すには第1回および第2回入試の単願受験をおすすめします。

### 【アドミッション方式に関して】

**Q 1 : アドミッション方式を受けたいのですが、どうすればよいですか？**

A : 中学校の担任の先生にその旨をお伝えください。担任の先生、または進路指導の先生から本校へ連絡が入ったあと、入試担当者が必要書類を中学校へ届け、詳細を説明します。その後必要書類を準備していただく手順となります。詳しくは、入試要項の「アドミッション方式」の項目をご覧ください。

**Q 2 : アドミッション方式で不合格だった場合、再度一般入試を第一志望で受験できるとありますが、その場合の出願手続はどうすればいいのでしょうか？**

A : 第2回入試の出願をインターネットで申し込んでください。単願方式を選択すると合格の可能性が高まります。

**Q 3 : アドミッション方式を希望していますが基準を満たしていません。その場合は一般受験しかありませんか？**

A : 単願方式もあります。また、難関大コースには難関大ポートフォリオもあります。一度学校説明会の個別相談会にお越しいただくか、入試担当者に電話でお問い合わせください。詳しく説明いたします。  
(学校代表番号) 0297-74-8771

**Q 4 : アドミッション方式で難関大コースに合格後、第2回入試で医科・東大コースにチャレンジしたいのですが可能ですか？**

A : 可能です。難関大コースの入学手続を済ませてから第2回入試の出願手続をインターネットで行ってください。第2回入試で合格すれば、医科・東大コースに自動的に登録となります。

**Q 5 : アドミッション方式で医科・東大コースから難関大コースへのスライド合格になった場合、再度第2回入試で医科・東大コースにチャレンジできますか？**

A : できません。第2回入試の出願手続をインターネットで行ってください。

**Q 6 : アドミッション方式で医科・東大コースが第一志望であり、難関大コースへのスライド合格の場合は入学を辞退したいのですが可能ですか？**

A : 可能です。アドミッション申請書類にスライド合格の場合の意思表示をする記入欄がありますので、そちらに意思を表明していただくことになります。ただし、スライド合格の場合に入学の意志がない場合は、合否判定が併願方式受験者と同じ基準になり、単願方式での優遇措置は受けられませんのでご注意ください。

**Q 7 : アドミッション方式はどのくらい優遇されますか？**

A : 本校は、「心豊かなリーダーの育成」を教育理念として、国際社会に貢献できる有為な人材の育成に取り組み、具体的には、「規律ある進学校」として、心力・学力・体力のバランスのとれた三位一体の教育を目指します。第一志望で入学を希望される受験生のみなさんは、この主旨を理解した上で受験されることを望みます。こうしたことを踏まえて、中学校の学業成績、ポートフォリオ、第一次面接も重視し、当日の試験や面接など全てを総合的に判断いたしますので、併願方式受験生より優遇措置が得られます。

**【特待単願方式に関して】**

**Q 1 : 特待単願方式とは何ですか？**

A : A特待（入学納入金と授業料免除）を目指す制度です。特待単願方式は第一志望での受験であり合格したら入学義務がありますが、A特待で合格しなれば入学義務が生じず、併願方式と同じ扱いになり、延納が可能となる制度です。公立高校を第一志望としている受験生向けの制度です。他の方式よりも特待合格しやすくなっています。

**【帰国生方式に関して】**

**Q 1 : 帰国生方式はどんな内容になりますか？**

A : 英語試験、口述・記述試験、個別面接試験、書類審査による総合評価です。試験形式は、以下の通りです。

- ① 英語 : (1) 通常の英語の試験（5教科型・3教科型と同一問題です）  
(2) ある英文をリスニングし、その内容を口述で要約し、その内容について英語による記述で意見を述べる
- ② 個別面接 : 日本語・英語両方を用いた面接試験。合わせて10分程度で、志望理由・ポートフォリオ・人物・将来の展望などを確認
- ③ 書類審査 : 成績・資格などを総合的に評価

**Q 2 : 帰国生方式でアドミッションはないのですか？**

A : ありません。帰国生方式は第1回入試のみで、併願と単願の選択ができます。単願を選択した方が合格の可能性が高まります。

**Q 3 : 帰国生方式の出願資格は何ですか？**

A : 資格は、以下の両方です。  
① 2006年4月2日～2007年4月1日に生まれた者  
② 海外の学校に通算1年以上在籍し、帰国後3年以内であること

**【その他入試全般に関して】**

**Q 1 : 5教科型と3教科型は併用はできますか？**

A : どちらか一方の受験となります。（アドミッション方式受験者も同じです）

**Q 2 : 5教科型と3教科型はどちらが有利ですか？**

A : 5教科型・3教科型と広く門戸を広げております。5教科型はバランス重視、3教科型は国数英重視とそれぞれの特性に応じた試験制度となっておりますので、特別に有利不利な点はございません。

**Q 3 : 第1回入試と第2回入試は、受験型（5教科型と3教科型）や受験コース（医科・東大・難関大）が違ってもいいですか？**

A : はい。ただし、一度出願手続を済ませた後に、受験型や受験コースの変更はできません。

**【合否判定に関して】**

**Q 1 : 教科による足切りはありますか？**

A : 総合得点による合否判定を行いますので、教科による足切りはありません。

**Q 2 : 合格基準点は何点ですか？**

A : 問題の難易度や受験生の人数等によって、全体の得点分布状況は変動します。したがって、合格基準点は固定しておりません。大まかには医科・東大は7割以上、難関大は6割程度が合格基準になります。なお、アドミッションの場合は、提出書類、学科試験、面接を総合して合否判定を行います。

**Q 3 : 男子と女子は、別々に合否判定を行うのでしょうか？**

A : 男女関係なく総合得点で合否判定を行います。

**Q 4 : 第 1 回入試で合格し、手続（入学・延納）を行って、第 2 回入試もチャレンジして不合格になった場合、第 1 回入試の合格は取り消しになりますか？**

A : いいえ。第 1 回入試で手続きされた内容は保持されています。ただし、第 1 回入試合格後に何も手続を行わなかった場合は、合格は保持されません。

### 【スライド合格に関して】

**Q 1 : スライド合格とは何ですか？**

A : 医科コースや東大コースで不合格であっても、難関大コースの合格基準を超えていれば難関大コースにスライドして合格発表を行う制度です。その際、入学は難関大コースへの入学となります。医科コースから東大コース、東大コースから医科コースへのスライド合格はございません。なお、高校 2 年、または高校 3 年の進級時に医科コース・東大コースへの編入制度（本人の希望と成績による判定等）があります。

### 【入学手続及び、延納手続について】

**Q 1 : ホームページ上で合格が確認できた場合、入学手続はどのようにすればよいのですか？**

A : 一般的なお手続の流れは、

- ① 本校ホームページから合格発表ページ、入学金決済ページへ進み、入学金、または延納金を支払う。  
※特待合格者は、入試要項をご確認ください。
- ② 入学決定の場合は、誓約書を上記ページでダウンロードしてから、決済し、誓約書は手続き切までに、本校へ持参する。

となります。  
入学手続と延納手続の詳細に関しましては、入試要項をご覧ください。

### 【特待制度に関して】

**Q 1 : 特待制度はすべての入試に適用されますか？**

A : 推薦入試と帰国生方式には適用されません。第 1 回・第 2 回入試で 5 教科型・3 教科型を受験した場合に適用となります。

**Q 2 : アドミッション方式で合格したが、特待合格ではなかったため、第 2 回入試で特待をねらって受験することができますか？**

A : できます。

**Q 3 : 特待合格の基準は何点ぐらいですか？**

A : 全体の得点分布によって変動しますが、目安としては、A 特待はおよそ 8 割程度の基準になります。B 特待はそれよりも若干下ということになります。なお、特待単願方式の場合はさらに基準は下がります。

**Q 4 : 特待合格となった場合の入学手続はどうなりますか？**

A : アドミッション・単願の場合は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。一般入試（併願）の場合は、手続期間内に延納金納入を行ってください。本校への入学が決定しましたら誓約書を提出し、入学手続を行ってください。納入された 5 万円については、入学後 6 月中を目途に返金いたします。他校に入学した場合は、延納金の返金はありません。

**Q 5 : 特待生の場合、就学支援金はどうなるのでしょうか？**

A : 国からの就学支援金（各家庭によりますので文科省のホームページでご確認ください）は、授業料に対しての支援制度ですので、A 特待の場合は受給対象になりません。B 特待の場合は受給対象となります。

その他、ご不明な点は高等部入試担当者にお問い合わせください。

江戸川学園取手高等学校

TEL 0297(74)8771

# 2021年度高等部第1回入試 アドミッション及びポートフォリオ結果情報(特待アドミッション含む)

! 2021年度高等部アドミッション入試結果は、下記表の通りとなりましたので、ご覧ください。

! 応募総数は55名、受験者総数は55名(欠席者0名)でした。

! 特待合格者は、第1回入試全体で、A特待22名、B特待26名となります。

! 帰国生は、第1回入試全体で受験者数2名(男子1名、女子1名)、合格者数2名でした。

! アドミッション入試は学科試験と調査書等と面接にて総合的に合否判定をおこなっています。

## 1. 入試結果一覧

### 医科コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	8名	16名	24名
受験者数	8名	16名	24名
合格者数(スライド合格含む)	8名	16名	24名

### 東大コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	5名	6名	11名
受験者数	5名	6名	11名
合格者数(スライド合格含む)	5名	6名	11名

### 難関大コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	7名	13名	20名
受験者数	7名	13名	20名
合格者数	7名	13名	20名

※アドミッション入試は学科試験と調査書等と面接にて総合的に合否判定をおこなっていますので、学科試験の結果については公表は致しません。

## 2021年度高等部推薦入試結果情報

- ❗ 2021年度高等部推薦入試結果は、下記表の通りとなりましたので、ご覧ください。
- ❗ 応募総数は27名(男子17名、女子10名)、受験者総数は27名(欠席者0名)、合格者数は27名(男子17名、女子10名)でした。
- ❗ 推薦入試は学科試験と調査書等と面接にて総合的に合否判定をおこなっています。

※推薦入試は学科試験と調査書等と面接にて総合的に合否判定をおこなっていますので、学科試験の結果については公表はいたしません。

## 2021年度高等部第1回入試(一般)結果情報

2021年度高等部一般入試結果は、下記表の通りとなりましたので、ご覧下さい。

応募総数は331名、受験者総数は326名(欠席5名)でした。

特待合格者は、第1回入試全体で、A特待22名、B特待26名となります。

帰国生は、第1回入試全体で受験者数2名(男子1名、女子1名)、合格者数2名でした。

一般入試は学科試験と調査書にて総合的に合否判定をおこなっています。

### 1. 入試結果一覧

#### 医科コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	25名	19名	44名
受験者数	24名	18名	42名
合格者数	9名	5名	14名
倍率	3.0倍		

#### 東大コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	67名	27名	94名
受験者数	67名	27名	94名
合格者数	23名	8名	31名
倍率	3.0倍		

#### 難関大コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	105名	88名	193名
受験者数(スライドを含む)	161名	120名	281名
合格者数(スライドを含む)	137名	107名	244名
倍率(スライドを含む)	1.2倍		

### 2. 入試成績一覧

- 各教科配点は全コース共通で、以下のようになります。
- 3教科入試 合計400点(通常型 国語100点、数学150点、英語150点 英語重視型 国語100点、数学100点、英語200点)
- 5教科入試 合計400点(通常型 国語100点、数学100点、英語100点、理科50点、社会50点 英語重視型 国語50点、数学50点、英語200点、理科50点、社会50点)
- 下記の成績は、国語・数学・英語は100点満点、理科・社会は50点満点に換算しています。

#### 医科コース

項目	国語	数学	英語	理科	社会	合計
受験者平均点	59.1	71.3	79.0	39.0	29.8	283.2
合格者平均点	67.4	83.7	86.9	42.4	33.3	322.1
教科別最高点	80	96	94	48	41	381(最高点)

医科(併願) 合格最低点 303点

#### 東大コース

項目	国語	数学	英語	理科	社会	合計
受験者平均点	64.4	78.4	82.6	41.4	33.6	302.6
合格者平均点	72.9	87.2	89.0	44.7	36.8	333.9
教科別最高点	86	96	98	49	45	367(最高点)

東大(併願) 合格最低点 318点

#### 難関大コース

項目	国語	数学	英語	理科	社会	合計
受験者平均点	59.9	72.7	77.5	38.6	29.9	282.7
合格者平均点	62.3	75.4	79.7	39.5	31.1	292.5
教科別最高点	88	96	98	50	41	369(最高点)

難関大(併願) 合格最低点 250点

## 2021年度高等部第2回入試(一般)結果情報

2021年度高等部一般入試結果は、下記表の通りとなりましたので、ご覧下さい。

応募総数は212名、受験者総数は112名(欠席100名)でした。

特待合格者は、第2回入試全体で、A特待4名、B特待6名となります。

一般入試は学科試験と調査書にて総合的に合否判定をおこなっています。

### 1. 入試結果一覧

#### 医科コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	19名	28名	47名
受験者数	10名	18名	28名
合格者数	6名	5名	11名
倍率	2.5倍		

#### 東大コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	39名	12名	51名
受験者数	31名	8名	39名
合格者数	13名	2名	15名
倍率	2.6倍		

#### 難関大コース

項目	男子	女子	合計
応募者数	58名	56名	114名
受験者数(スライドを含む)	49名	37名	86名
合格者数(スライドを含む)	43名	31名	74名
倍率(スライドを含む)	1.2倍		

### 2. 入試成績一覧

- 各教科配点は全コース共通で、以下のようになります。
- 3教科入試 合計400点(通常型 国語100点、数学150点、英語150点 英語重視型 国語100点、数学100点、英語200点)
- 5教科入試 合計400点(通常型 国語100点、数学100点、英語100点、理科50点、社会50点 英語重視型 国語50点、数学50点、英語200点、理科50点、社会50点)
- 下記の成績は、国語・数学・英語は100点満点、理科・社会は50点満点に換算しています。

#### 医科コース

項目	国語	数学	英語	理科	社会	合計
受験者平均点	61.5	68.4	84.9	35.0	28.9	285.8
合格者平均点	69.1	82.4	89.5	39.5	33.0	320.4
教科別最高点	86	90	96	46	38	349(最高点)

医科(併願) 合格最低点 299点

#### 東大コース

項目	国語	数学	英語	理科	社会	合計
受験者平均点	65.3	77.5	86.5	36.9	31.2	302.5
合格者平均点	70.4	84.4	89.9	39.1	33.7	324.3
教科別最高点	80	96	96	47	40	350(最高点)

東大(併願) 合格最低点 312点

#### 難関大コース

項目	国語	数学	英語	理科	社会	合計
受験者平均点	61.2	67.2	81.5	33.3	27.0	274.7
合格者平均点	63.5	70.6	83.6	34.8	27.7	284.7
教科別最高点	82	92	96	48	37	348(最高点)

難関大(併願) 合格最低点 248点

## 受験生の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入試説明会等については、変更の可能性がございます。最新の情報は、本校ホームページでご案内致します。

参加を希望される場合、本校ホームページよりお申し込みが必要になります。

質問等ございましたら、下記の入試担当まで、お問い合わせください。

新型コロナウイルス感染拡大が一日も早く終息し、受験生の皆様が、来春、志望する中学校（高等学校）で新生活をスタートされますことを心より応援しております。

江戸川学園取手中・高等学校 電話 0297-74-8771

■ 中等部入試担当 遠藤・貝森・山田・中村・滝川・石井・鈴木・横堀

■ 高等部入試担当 山本・青野・文道・石塚・熊代・内山・木本

## 【説明会・オープンスクール】

塾の先生方対象の学校説明会	6月24日(木) 10:00~12:00
オープンスクール(オンライン)	7月3日(土) 中等部9:00~10:00 高等部10:30~11:30

【中等部入試説明会】	【高等部入試説明会】
9月4日(土) 10:00~12:00	9月11日(土) 10:00~12:00
10月16日(土) 10:00~12:00	10月23日(土) 10:00~12:00
11月27日(土) 10:00~12:00	11月20日(土) 10:00~12:00

## 【紫峰祭】

紫峰祭	10月 9日(土) 9:00~16:00 10月10日(日) 9:00~15:30
-----	----------------------------------------------

## 【本校外での説明会】

日 時		会 場	
6月27日(日)	10:00~12:00	つくば	つくば国際会議場
7月25日(日)	10:00~12:00	新浦安	浦安音楽ホール
8月7日(土)	10:00~12:00	水戸	常陽芸文センター(水戸)
9月12日(日)	10:00~12:00	越谷	越谷サンシティーホール
9月18日(土)	10:00~12:00	新御茶ノ水	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

## 【オンライン説明会】

10月30日(土)	中等部：13時~14時	高等部：14時30分~15時30分
11月13日(土)	中等部：9時30分~10時30分	高等部：11時~12時

## 【首都圏模試・SAPIX模試】

説明会・施設案内・個別相談			
首都圏模試を受験されない場合でも、説明会のみお申込みすることは可能です。			
7月4日(日)	9:00~12:00	首都圏模試	小6 合判模試
9月5日(日)	9:00~12:00	首都圏模試	小6 合判模試
9月20日(月 祝日)	9:00~12:00	首都圏模試	小6・小5 適性検査型模試
10月24日(日)	9:00~12:00	SAPIX模試	
11月3日(水 祝日)	9:00~12:00	首都圏模試	小6 合判模試
12月5日(日)	9:00~12:00	首都圏模試	小6 合判模試

## 【入試】 (web出願になります)

2022年度中等部入試		2022年度高等部入試	
帰国生入試	11月20日(土) シンガポール会場・本校会場 定員：若干名 出願受付 11月1日(月)~11月18日(木)		
適性型入試	1月6日(木) 定員：30名 出願受付 11月20日(土)~1月5日(水)		
第1回入試	1月17日(月) 定員：180名 出願受付 11月20日(土)~1月16日(日) 5科目型・英語型・帰国生入試	推薦入試	1月9日(日)
第2回入試	1月25日(火) 定員：60名 出願受付 11月20日(土)~1月24日(月) 5科目型・英語型・適性型・帰国生入試	アドミッション・一般入試	1月15日(土)
第3回入試	2月5日(土) 定員：30名 出願受付 11月20日(土)~2月4日(金) 5科目型・英語型・帰国生入試	一般入試	1月20日(木)

